

みんなで考えよう 一宮の未来!

# 長生郡市合併協議会は「解散」ではなく「休止」!

## 第9回 長生郡市合併協議会で

### 協議会の「休止」が発表されました。

九月十日(月)、第9回合併協議会が開かれました。長生村の離脱、一宮町・白子町議会での協議会規約変更の否決を受けて、協議会は解散されるものと思われていました。しかし、九月六日の正副会長(7市町村長)会議での議論の結果、合併協議会は「休止」することが決まりました。

### なぜ、解散ではなく「休止」なのでしょう?

《協議会会長・石井茂原市長の発言より》(要旨)

「関係市町村長で今後どうするか、話し合ったところ、首長の中には解散すべきとの意見もあった。しかし、長生郡市の合併は絶対必要なので、将来のため休止して、組織を残すことにした。」

《藤見長南町長の発言より》(要旨)

「九月六日の会合で、休止するか、責任をとるか提案したが、休止することに決まった。休止することになったので、責任は取らなくてよくなった。」

### 合併協議会の「休止」とは?

合併協議会が解散すると、再度、合併協議会を立ち上げることになった場合、改めて各市町村議会の議決が必要となります。また、今回の協議会で調整した協定項目も、一度白紙に戻して再度協議する必要があります。

しかし、「休止」の場合には、再度議決する必要がないので、容易に合併を復活させることができます。また、今回の協議会では、合併に必要な全ての合併協定項目の協議がすでに終了しています。来年の各首長選挙(茂原・一宮・長生)などで状況が変化すれば、新市名「茂原市」や、「新市において調整」(先送り)する多くの項目を残したまま、即座に合併へ進むことが可能です。

未来の上総一宮をつくる会

代表 馬淵昌也  
副代表 藤乘一由

〒299-4301

一宮3604-1  
一宮2933

TEL (42)4211  
TEL FAX (42)6068

# 今回の合併協議の問題を振り返る

《新聞報道から》

2007年(平成19年)9月11日 火曜日  
享月 日 葉斤 日

**拙速な協議 疑問相次ぐ**

《解説》茂原市と長生郡6町村はなぜ合併できないのか。記者会見した、石井俊雄・長生村長を除く6首長は「何が原因かわからない」と口をそろえたが、「わかろうと努力をしなければ、合併協議会が再開されるだけだろう」。

①対等合併なのに協議会委員は茂原市13人、町村各5人(前回は市町村各6人) ②「前回決定事項は踏襲する」方針にして新市名を公募、結局「茂原市」に(同一「長生市」) ③国民健康保険税や介護保険料など「合併後調整」と先送り。

合併協議会が決定した石井村長が今回の破綻の主要因を挙げた。同村の住民アンケートでは、合併反対が賛成の3倍近くを占めた。

新市名公募では募集枠(茂原市1万8千、6町村各3千)でもめた。新市名は、採決で最も多い茂原市になったが、ある町の委員は、「茂原市の数のわがままが今後も通る。『新市で決める』ことへの(将来)不安が現実になった」。拙速な協議への疑問など市民グループからの申し入れも相次いだ。委員を公募した市町村はなく、行政側に選ばれた委員が、どこまで「住民代表」と言えるのかも疑問だった。

また、前回離脱決議した茂原市議会は、05年の市議選で当選者全員が現職の再選となったが、なぜ今回は、協議に加わらなかったか。前回協議を検証する動きは、行政も市民側も鈍かった、と言わざるを得ない。(吉井亨)

《第9回合併協議会における一宮町・篠瀬三喜男委員の発言より》(要旨)

前回の合併協議は、茂原市議会の都合で破綻した。今回の合併協議においては、委員や住民に一つの不安があった。それが現実化したのが新市名の問題だ。前回すでに「長生市」と決定していたが、茂原が「茂原市」も考えて欲しいということで公募になり、数の力で「茂原市」になってしまった。

合併協定項目になかには、多くの「新市に先送り」する項目がある。新市名決定の成り行きから見ると、これらもまた茂原の数の力で押し切られる可能性が見えた。

各自治体が、抑えるべきところは抑えていかなければいけない。これが、問題であったことを考えて欲しい。

(傍聴者のメモより)

# 近藤町長に「住民投票条例の制定」を再度要望します。

4千7百人近くの一宮町民の署名を添えて提出した前回の住民投票に関する要望は、近藤町長によって拒否されました。

理由は、関連市町村長との関係を重視するということでした。また、臨時議会では、住民投票をする時間がないことなどを挙げて、「またの機会に」と発言されました。

合併協議会が休止されたので、時間的余裕が生まれました。他の市町村長の意向を考慮する必要もなくなりました。

しかも、状況の変化によっては、今回の協議会で決定したことを踏まえて、即座に合併に進んでしまう可能性さえあります。

いまこそ、住民投票条例を制定する絶好の時機ではないでしょうか。私たちは、この機会に是非、住民投票条例を制定していただくように、近藤町長に再度要望書を提出いたします。

詳細については、次回の報告でお知らせいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

【予告】

## 「みんなで考えよう 一宮の未来！」(第1回) ～ 長生郡市合併協議の検証とこれからの一宮町 ～ (仮題)

を開催いたします。(10月中に開催の予定です。)

今回の合併協議を振り返るとともに、これからの一宮町がどうあるべきかを、みなさまと一緒に考えていこうと思います。

日時・場所などは、決定次第ご報告いたします。多くの皆さまにご参加いただきますように、お願い申し上げます。

ご意見、お問合せは・・・ 未来の上総一宮をつくる会  
代表 馬淵 昌也 (42)4211  
副代表 藤乗 一由 (42)6068